

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 5 教科・領域 総合 単元・題材等 稲作（米作り）

単元・題材等の目標 米や米作り、米の食文化などについて調べ、いろいろな見方や考え方を深めていく中で、米のよさや大切さ、地域の人の知恵と努力に気づき、自分にできることを考え実践しようとする。

○活用できる学校外の人材と内容等

米を生産している農家の人、JAの人、など
*来校、または、現地において、話をしてもらったり、栽培や体験活動の指導やアドバイスをしてもらったりする。

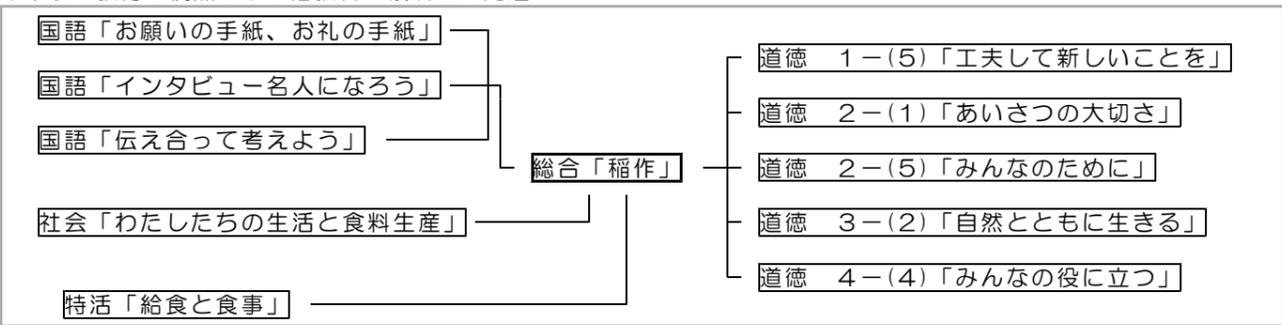
○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

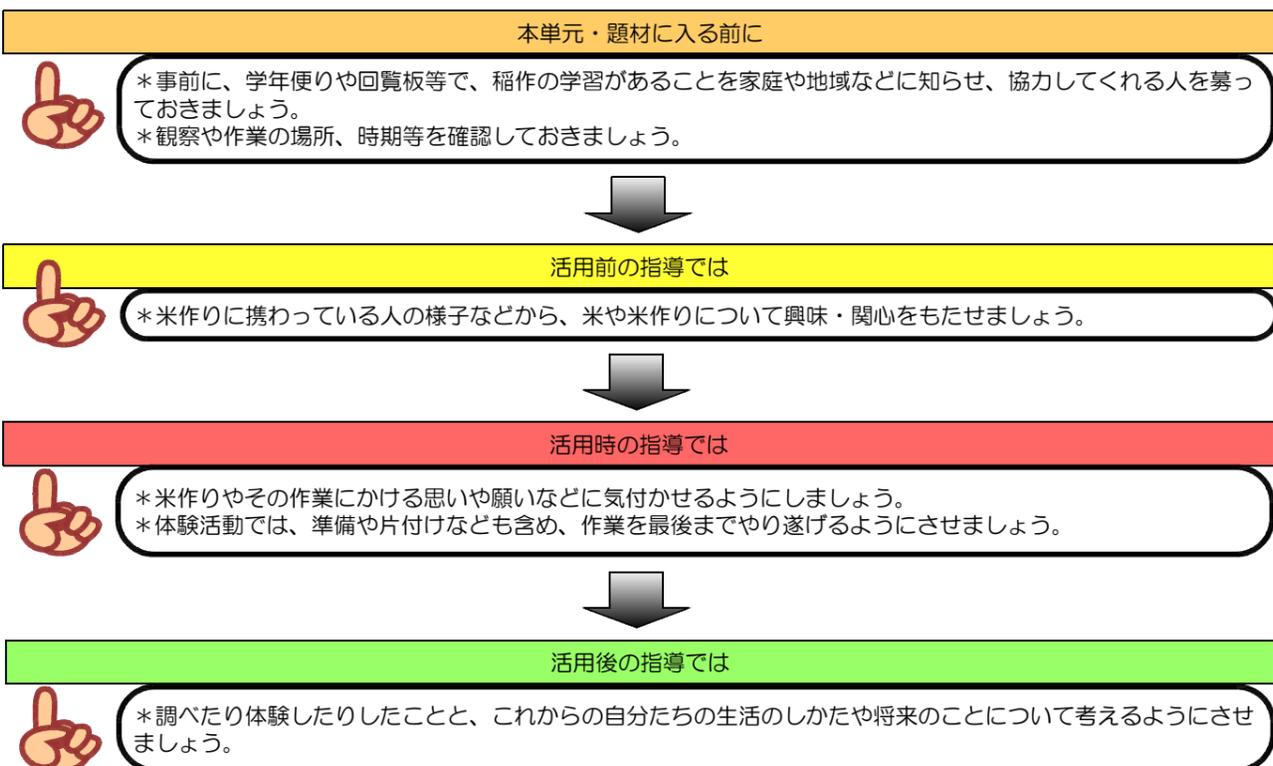
b>

- 米作りの活動に進んで取り組み、役割と責任を果たそうとする。【**コミュニケーション能力**】
- 稲作という産業や稲作に携わる人の様子とその変化が分かる。【**情報収集・探索能力**】
- 米作りの活動を通し、働くことの大切さや苦労が分かる。【**職業理解能力**】
- 学習したり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。【**職業理解能力**】
- 米の栽培や成長に合わせて世話をすることの必要性が分かる。【**役割把握・認識能力**】
- 米作りの活動を通して、将来のことを考える大切さが分かる。【**計画実行能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導
①米や米作りに関心をもち、課題を設定して、調べるための計画を立てよう
◆米や米作りについて調べたいことを挙げ、課題を設定して、調べるための計画を立てる。

学習活動	指導上の配慮事項
●米や米作りで知っていることを挙げ、関心をもち。	○実物や資料等を提示し、米や米作りのイメージを広げさせる。
●米や米作りについて調べたいことを挙げ、課題を設定する。	○社会科での学習も想起させながら、調べたいことを挙げさせ、課題づくりに生かすようにさせる。
●調べるための計画を立てる。	○同じ課題をもった者同士でグループを作り、調べる方法を考えさせ、インタビューや訪問の予定を立てさせる。

評価の観点 ・米や米作りに関心をもち、適切な課題が設定できる。
・課題追究のための計画を具体的に考えることができる。

活用時の指導
②調査活動や米作りの体験活動を行おう
◆計画に基づいて、本やインターネット、人の話を聞いて調べたり、米作りに関する観察や体験活動を行ったりする。

学習活動	指導上の配慮事項
●本やインターネットで調べたり、農家の人などに話を聞いたりして調べる。	○農家の人などに話を聞いたり、作業を見学してもらったり、体験でお世話になったりする際の注意事項を指導しておく。
●稲の成長に合わせて、米作り作業の観察や体験を行う。 【 コミュニケーション能力 】 【 情報収集・探索能力 】 【 職業理解能力 】 【 役割把握・認識能力 】	○農家の人などの話や体験から、作業の楽しさや大変さ、成長や収穫の喜び、働くことの大切さなどに気付かせるようにする。

作業は大変だったけど、たくさん収穫できてよかったです。

今と昔の作業の違いや道具の変化なども聞いてみましょう。
 作業をされていて大変なことや苦労と、嬉しいことや楽しいことなどを感じ取りましょう。

評価の観点 ・米作りの話や活動の体験から、働く人や稲作の様子と働くことの大切さや苦労が分かる。
・成長に合わせた世話の必要性が分かり、活動に対する役割と責任を果たそうとする。

活用後の指導
③学習をまとめ、振り返ろう
◆調べたり体験したりしたことを整理し、考えを交流し、まとめ、発表し合う。
◆活動を振り返り、自分たちができていることについて話し合う。

学習活動	指導上の配慮事項
●調べたことや体験したことを整理し、考えたことを友達と交流する。	○意見交流をさせて、自分の考えを広げたり深めたりできるようにさせる。
●分かったことをまとめて発表の資料を作り、発表する。	○お世話になった農家の人などに参加してもらったり、まとめや発表資料を送付したりすることなどを考えるとよい。
●活動を振り返り、自分にできることを考え、話し合う。 【 職業理解能力 】 【 計画実行能力 】	○これまでの活動を写真やポートフォリオで振り返らせ、考えを深めさせる。

お米を大切にしよう。ご飯を残さず食べよう。

安全な米作りができるような良い環境をこれからも守っていきましょう。
 自分（たち）で実行できることはどんなことでしょうか。

評価の観点 ・調べたり体験したりしたこと、自分たちの生活のしかたや職業との関連を考える。
・これからの自分たちの生活のしかたや将来の稲作について考えることの大切さが分かる。